

鞍手町小規模企業等振興審議会専門部会の審議経過（第3～4回）

○**第3回専門部会** 平成30年8月23日(木)10:00～ くらじの郷 多目的室AB

＜主な審議内容＞

◇条例及び活性化計画の策定に向けた取り組み

1. 中小企業基本条例(案)のパブリック・コメントの実施について(経過報告)
2. 中小企業に対するアンケート調査について(結果報告)
3. 中小企業の活性化に向けた具体的な支援策について

＜意見の要約＞

◇各委員から出された意見の要約は以下のとおり。

2. 中小企業に対するアンケート調査について

- ・情報不足を感じている事業者が多い。情報伝達のツールを再検討すべきでは。
- ・ネット環境がない若しくはあっても活用できていない事業者については、まず意識の醸成を図ることが先では。
- ・雇用の確保に苦慮されている事業者が多いようなので、何らかの支援が必要では。

- ・求人票の書き方一つで、応募が増えるという経験をした。自社の強みをうまくPRすることが必要。
- ・今はパソコンより、スマホの時代である。スマホに対応したホームページをつくるなどの工夫が必要。
- ・補助金や助成金関係の情報をわかりやすく、速やかに伝える手段を構築すべきでは。
- ・ITを活用している事業者とそうでない事業者との温度差がある。現時点で、ITによる情報伝達は難しいのでは。

3. 中小企業の活性化に向けた具体的な支援策について

【情報発信】

- ・求人情報や企業案内などを発信するツールとして、専用ウェブサイトを立ち上げたとしても見る人は少ない。

【雇用の確保】

- ・インターンシップの取り組みは良いと考えるが、まず受け入れをする事業者の掘り起こしが先である。

【人材育成】

- ・全国で9つある中小企業大学校が直方市にあるので、スキル・キャリアアップのために利用すべき。

【新事業の創出】

- ・町内の空き店舗を活用して、事業者の活性化とまちの賑わいづくりを。
- ・町内企業のネットワークを構築して、効果があるのか。金機関等のネットワークを活用したらどうか。
- ・町内企業のネットワークに代わる、企業の情報誌などを作成してはどうか。

【その他】

- ・町内に鉄工所が少なく感じるが、今、鉄鋼の需要が多い。若者に鉄鋼の魅力を伝える手段はないか。
- ・今日の会議で、個々の支援策の可否を検討するのはできない。もっと踏み込んだ説明と時間が必要では。

＜審議の概要＞

◇活性化計画の策定に向けた取り組み。

1. 中小企業の活性化に向けた具体的な支援策について
2. 鞍手町中小企業活性化計画(案)について
3. 鞍手町中小企業活性化計画(案)のパブリック・コメントについて

＜意見の要約＞

◇各委員から出された意見の要約は以下のとおり。

2. 鞍手町中小企業活性化計画(案)について

【全般】

- ・事業者の経営の安定を図るため、計画中の各基本施策ごとに専門家による事業計画策定支援を入れてるべきでは。
- ・各施策に目的(KPI)の設定が必要では。

【人材育成】

- ・人材育成支援として従業員のスキルアップが謳われているが、同様に経営者の能力向上も重要であると考えるので、経営者も含めた施策を構築するべきでは。

【IT活用】

- ・他の市で、起業した若者が店舗販売と併せてネット販売を上手く使って実績をあげている。鞍手町のIT補助金を上手く活用できないか。
- ・ITの活用を促進させるための、初心者向けのセミナーやマーケティング講座などを開催してはどうか。

【経営基盤】

- ・大型小売店舗の進出により、既存の小売店は、工夫し独自の特色を出さないと存続が難しい。
- ・後継者問題もあるが、小売店にはハードとソフトの両面の支援が必要では。
- ・今後、車を運転できない高齢者が増える。病院、買い物などに支障が出ないように、高齢者の視点に立った町づくりをしなければならないのでは。
- ・今後、大型店舗などに対抗するためには、点在している店舗などを一か所にまとめるなどの工夫が必要では。
- ・個店の魅力を向上させるには、ターゲティング、マーケティングをしっかりとやらなければならない。
- ・地域振興券は、地域内循環を高めるためのものであるが、大型店舗で使う人が多いと聞く。地域事業者のメリットが薄いように感じるが。

3. 鞍手町中小企業活性化計画(案)のパブリック・コメントについて

- ・パブリック・コメントという言葉が分かりづらい。住民の人に分かりやすい表現にすれば意見も出るのでは。